

令和6年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立大森東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・タブレットやホワイトボードを用いた、話し合い・発表の活動を行うことで、課題解決能力、言語表現力の育成をすることができた。
- ・単元のまとめを文章で表現させることで、思考力、表現力を育成することができた。
- ・調べ学習と発表活動を行うことで、思考力、判断力、表現力を育成することができ、主体性をもって学習に取り組む機会を得られた。

(2) 課題

- ・どの学年も目標値を下回った。基礎的な学習内容の定着が課題である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	目標値▽8.3		
第2学年	目標値▽9.7	目標値▽7.1 (第1学年時)	
第3学年	目標値▽18.9	目標値▽8.6 (第2学年時)	目標値▽8.0 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値▽39.4 植物のつくりとはたらきに関する設問で目標値を下回った。	目標値△7.0 火山に関する設問で目標値を上回った。	目標値△4.9 生物と環境に関する設問で目標値を上回った。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値▽41.5 水溶液の性質に関する設問で目標値を下回った。	目標値▽40.4 物質の成り立ちに関する設問で目標値を下回った。	目標値▽21.1 気体の性質に関する設問で目標値を下回った。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値▽40.4 物質の成り立ちに関する設問で目標値を下回った。	目標値▽28.2 Ω の法則のグラフに関する設問で目標値を下回った。	目標値▽15.1 電流の正体に関する設問で目標値を下回った。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本的な実験に取り組ませるとともに、必要に応じて器具の使用法の技能指導を個別に行い、観察実験の技能を身に付けさせる。 小テストを行い、基礎基本の知識の定着を図る。	考察の際に意見交換活動を行い、思考力・判断力・表現力の育成を図る。 調べ学習を学期に1回設定し、思考力・判断力・表現力を育てる。	授業の振り返りを行い、自らの学習を調整しようとする態度を育てる。 調べ学習を学期に1回設定し、自分なりのテーマや目的を持って学習に取り組む態度を育む。 家庭学習の習慣を身につけさせる。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本的な実験に取り組ませるとともに、必要に応じて器具の使用法の技能指導を個別に行い、観察実験の技能を身に付けさせる。 小テストを行い、基礎基本の知識の定着を図る。	きめ細やかなノート指導と形成的評価を行い、思考力・判断力・表現力を育てる。	小テストを行い、粘り強い取り組みを行おうとする態度を育てる。 授業の振り返りを行い、自らの学習を調整しようとする態度を育てる。 家庭学習の習慣を身につけさせる。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観察実験の際は、予想→実験→考察→結論の過程を重視し取り組ませる。また、問題解決などの目的意識をもった上で観察実験に取り組ませ、観察実験の技能を育てる。 小テストを行い、基礎基本の知識の定着を図る。	主体的に考える時間を設定し科学的な思考力の育成を図る。 タブレットを用いた意見交換活動を行い、思考力・判断力・表現力の育成を図る。 調べ学習を学期に1回設定し、思考力・判断力・表現力の育成を図る。	小テストを定期的に行い、粘り強い取り組みを行おうとする態度を育てる。 定期考査の振り返りを行わせ、自らの学習を調整しようとする態度を育てる。 1, 2学年の教材に適宜取り組ませ、復習させるとともに家庭学習の習慣を身につけさせる。